

関西地区会開催



平成31年2月15日、ホテル阪急インターナショナルにおいて、関西地区会（代表幹事：山元康裕／関電システムソリューションズ(株) 代表取締役社長）の例会が開催され、54名が参加した。

はじめに、代表幹事の交代（4月1日付）、会則改定、2019・2020年度推薦理事候補者について審議され、異議なく了承された。

議事に入り、まず山元代表幹事から「万博、統合型リゾート施設（IR）など好景気が期待できる。関西地区会にももっと多くの人に参加してもらい、活性化したい。」という挨拶があった。

続いてJISA島田俊夫副会長が、「オープンコラボレーションの時代に入った。更に会員同士の関係を深めてチャレンジしていきたい。」と挨拶した。

来賓及び幹事の紹介に続き、JISA小脇一朗副会長・専務理事から、JISA事業の重点や情報サービス業の最近の業況などの説明があった。また、生産性・収益力向上委員会 委員長でもある島田副会長から、同委員会がまとめた「収益改革10箇条」の紹介があった。

最後に、関西地区会事務局から平成30年度の活動報告と会計報告があった。

休憩を挟んで、(株)フィラメント 代表取締役 CEO 角 勝氏による講演「VUCA(*)の時代に必要な人材と組織～変革期に必要なハブ型人材と組織のオープン化～」が行われた。角氏は、VUCA の時代に必要な人は“未来における常識や社会正義は何かを想像し行動できる人”であると語った。



(*)Volatility（変動性・不安定さ）、Uncertainty（不確実性・不確定さ）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性・不明確さ）という4つのキーワードの頭文字から取った言葉

（赤尾）